

目指せ!なのはな米1等比率95%以上継続! ~「R4 JAなのはな米品質向上運動」実施中~

直播コシヒカリの生育は、平年よりやや早くなっており、間もなく幼穂形成期を迎えます。高品質米を目指し、引き続き適切な水管理を行うとともに、病虫害防除を徹底しましょう。

1 水管理 ~稲体の活力維持のため、生育時期に応じた水管理を行いましょう!~

<水管理のポイント>

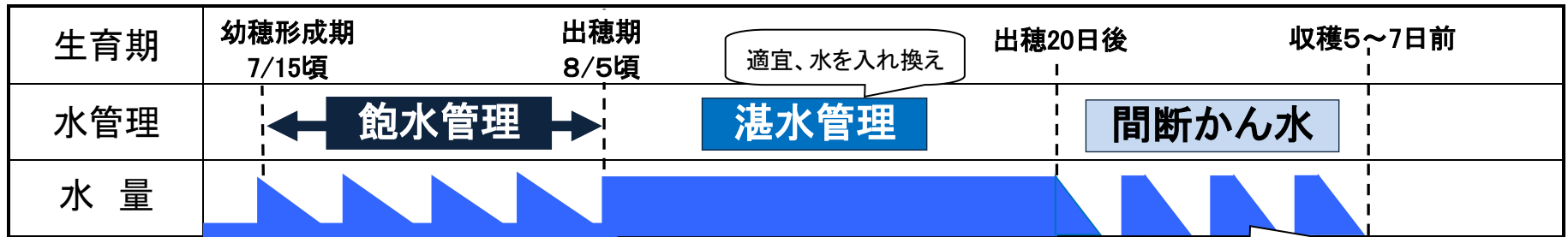
- 幼穂形成期から出穂期まで…足跡に水たまりが残る程度に「飽水管理」
- 出穂後20日間………常時、田面が出ない程度の「湛水管理」
- 刈取りの5~7日前まで………落水を急がず「間断かん水」



【飽水管理】

足跡の水がなくなる前に入水し、常にほ場が湿っている状態を保ちましょう。

【幼穂形成期以降の水管理のイメージ(4月末播種の場合)】



※播種日や播種様式により、生育の進みが異なります。

フェーンが予想される場合は、事前に湛水状態を確認!

2 追加穂肥 《※肥効調節型基肥施用ほ場への追加穂肥対応》

出穂の7~10日前頃に必ず葉色を確認し、葉色4.0(砂壤土の場合は4.2)を下回る場合は、速やかに追加穂肥を施用(追肥3号で7kg/10a)し、穂揃期の葉色を4.2~4.5(砂壤土は4.5)へ誘導しましょう。

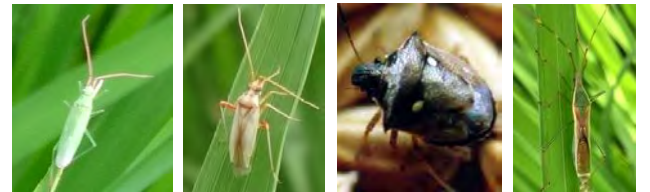
なお、鉄コーティング直播は表面播種のため倒伏しやすいので、慎重に判断しましょう。

3 病虫害防除 ~今年度もカメムシ類が多発しています!~

なのはな農協管内の雑草地でカメムシ類の調査(7/1)を行った結果、斑点米カメムシ類が平年よりもかなり多く確認されました。

斑点米等による品質低下を防ぐため、適期に2回防除を徹底しましょう。

なのはな農協管内で見られる斑点米カメムシ類



アカヒゲホリミドリカスミカメ アカシカスミカメ トゲシホカメシ クモリカメシ

【本田防除の目安】 (※コシヒカリ8月5日頃出穂の場合)

生育ステージ	防除時期		主な対象病虫害	農薬名	10a 当たり散布量
	時期の目安				
穂揃期	8月8~10日頃 (出穂3~5日後頃)	いもち病 カメムシ類	ビームクラブジョーカー粉剤 DL	3~4kg	
			ビームクラブジョーカーフロアブル	1,000倍 150ℓ	
傾穂期	8月15~17日頃 (穂揃期防除の7日後頃)	カメムシ類	トレボンスター粉剤 DL	3~4kg	
			トレボンスターフロアブル	1,000倍 150ℓ	

カメムシ類対策として必ず防除しましょう。

※前年に紋枯病が多発したほ場は、出穂前に発生状況を確認し、必要に応じて防除を行いましょう。

生育ステージ	時期の目安	主な対象病虫害	農薬名	10a 当たり散布量
穂ばらみ期 ~出穂直前	7月25日~7月27日頃 (出穂10日前頃)	紋枯病	バリダシン粉剤DL モンカットフロアブル	3~4kg 1,000倍 150ℓ

<留意事項>

- 防除の際は農薬の使用基準を正しく守るとともに、農薬飛散防止のため、風のない時に散布しましょう。
- ほ場毎に生育状況を確認して適期に防除しましょう。
- 防除間隔は7日を基本とし、10日以上空けないようにしましょう。

○天気予報と体調をチェックし、日中の気温の高い時間帯を外して農作業を行いましょう。
○適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう!